

バックナンバーはこちらから

# 幸手を元気に！

## 住みたくなるまちづくりへ

Vol.16 令和7年11月発行



坂本達夫

幸手市議会議員

### 令和7年9月 幸手市議会一般質問から

#### 新庁舎建設費は、誰が負担するのか？

## Q.

質問 坂本達夫：

令和7年2月に作成された「幸手市財政推計」によれば、庁舎建設費は約55億円。財源は10億円が基金、約44億円が地方債。地方債は、市の借金であり、次の世代に引継ぐ。

幸手の現在の人口は47,901人。25年後の2050年が33,617人と推計されている。そのときの生産年齢人口は、15,498人、老年人口は15,753人となる。つまり老年人口が生産年齢人口を上回る。

そうになると、医療、福祉、介護、年金など問題がより深刻化し、厳しい時代となる。それでも市長は、建設費の多くを次の世代に回すのか。

## A.

答弁 市長：

新庁舎整備費用については、その他の大規模事業と同様に、多額の財源が必要となることから、地方債や基金などを活用することを予定している。

地方債の主な役割は、財政支出と財政収入の年度間調整と住民負担の世代間における公平性の確保である。

そのため、地方債の償還年数や償還額のバランスを適切に勘案し、持続可能な財政運営を行いながら庁舎整備を進めていく。



#### 木村純夫市長の答弁を聴いて、坂本達夫の意見

木村純夫市長の考え方は、庁舎は次の世代も利用するのであるから、建設費も次の世代が負担すべきとの考えである。

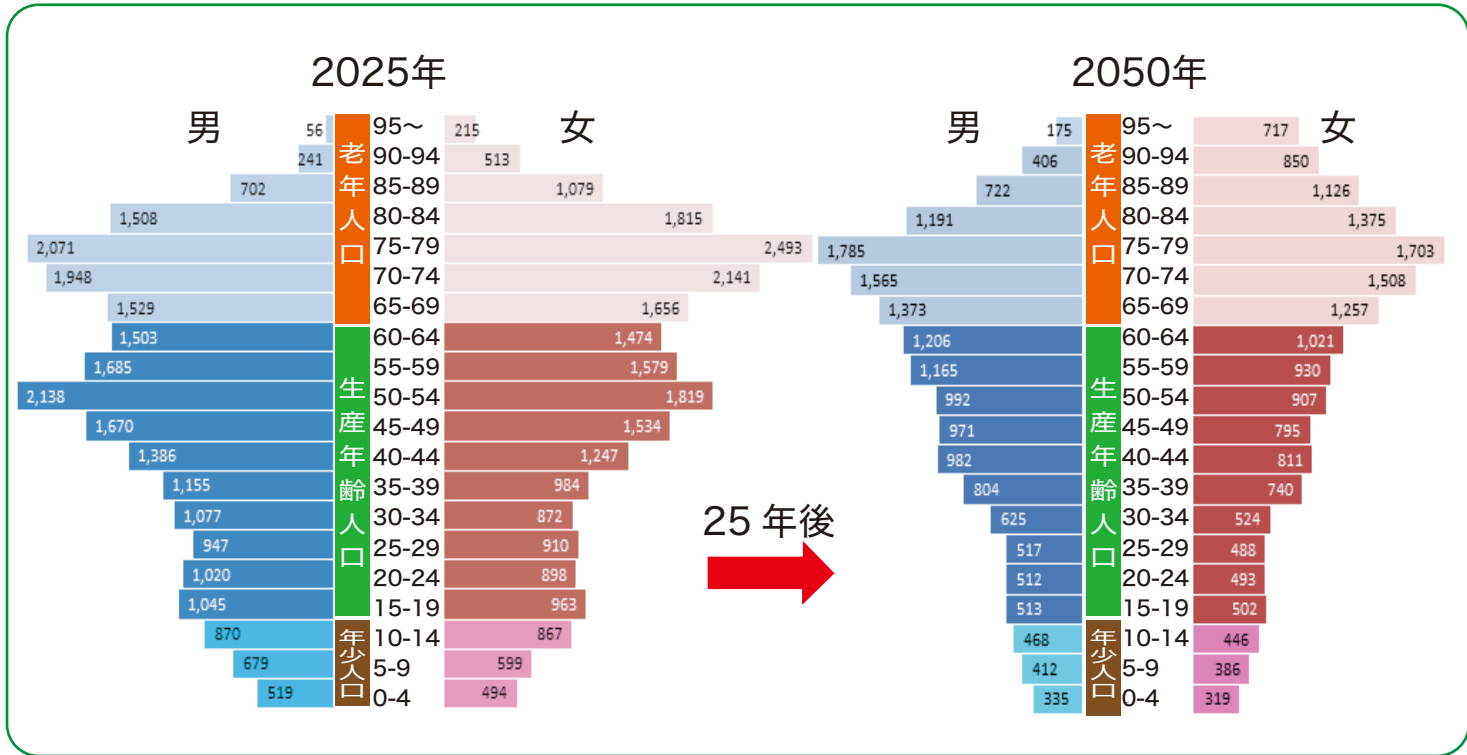
坂本達夫の考えは、人口推計によると、今後少子高齢化がより進行し、次の世代は、医療、福祉、介護、年金などの問題がより深刻化し、庁舎建設費の返済どころではない。よって庁舎は建設ではなく、統廃合の行われる小学校校舎等を活用し、木村市長には、次の世代に対し責任を持つ市政運営をお願いしたい。



# 幸手市人口推計

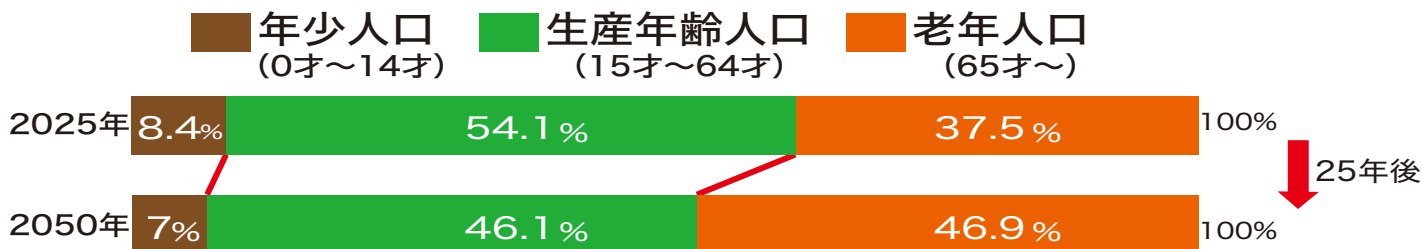
単位：人

国立社会保障問題研究会 (2023年12月)



## 幸手市人口推計

		年少人口	生産年齢人口	老年人口	合計
2025年	人口 (人)	4,028	25,906	17,967	47,901
	割合 (%)	8.4	54.1	37.5	100
2050年	人口 (人)	2,366	15,498	15,753	33,617
	割合 (%)	7.0	46.1	46.9	100



 <p>さかもと たつお <b>坂本達夫</b></p> <p>〒340-0163 埼玉県幸手市中川崎1-3 電話: 090-1242-0867 メール: sattegenki@gmail.com ホームページ: sattegenki.com</p>	<p><b>役職等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会建設経済常任委員長</li> <li>・幸手市スポーツ協会会長倉支部役員</li> <li>・長倉小学校応援団員</li> <li>・埼玉県地球温暖化防止活動推進員</li> <li>・中川崎保全組合員</li> <li>・幸手市民環境ネット役員</li> <li>・中川崎共楽会役員</li> </ul>	<p><b>プロフィール</b></p> <p>昭和28年 幸手生まれ 昭和47年 幸手商業高卒 昭和47年 埼玉県庁入庁 昭和50年 埼玉大学経済短大卒(夜間) 平成26年 埼玉県庁退職 平成27年 幸手市議選得票数 748票 平成31年 幸手市議選得票数 1402票(初当選) 令和5年 幸手市議選得票数 1268票(2期目)</p>
---	--	---